

前期の地域福祉計画の進行管理等について

1 前期計画期間

令和元年度～令和 5 年度

2 前期計画の評価指標の設定

本計画は、施策の方向性及び展開を記載し、個別事業については各個別計画で規定することとしていること、また、地域福祉を促進する施策の多くは、数値目標がなじまないことから、数値目標は設定しないこととしています。

一方で、目標が設定されていないと施策の効果が図れないことから、計画の策定や見直し時に実施する市民アンケートの回答の変化をもって定性的な評価を行うこととしています。

3 アンケート結果

N0.	項 目	基準値 平成 30 年度 (2018 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	今後も「今住んでいるところに住み続けたい」、「市内のどこかに住み続けたい」と回答した人の割合	83.6%	85.6%	83.4%
2	問題解決に適切な窓口を「紹介された」と回答した人の割合	23.7%	23.4%	18.4%
3	近所付き合いに対する考え方のうち、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」、「わずらわしいと思うこともあるが、必要である」と回答した人の割合	76.0%	75.3%	69.7%
4	今後地域活動に「ぜひ参加したいと思う」、「できれば参加したいと思う」と回答した人の割合	48.0%	47.4%	45.3%
5	福祉に「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した人の割合	68.3%	62.5%	60.1%
6	心のバリアフリーを「意識している」、「やや意識している」と回答した人の割合	46.4%	43.2%	42.6%

7	高齢者が暮らしやすいまちに「そう思う」、 「どちらかといえばそう思う」と回答した 人の割合	34.1%	41.5%	34.0%
8	障害のある人が暮らしやすいまちに「そう 思う」、「どちらかといえばそう思う」と回 答した人の割合	23.2%	25.2%	23.9%
9	子育てしやすいまちに「そう思う」、「どち らかといえばそう思う」と回答した人の割 合	40.2%	41.1%	38.0%
10	困ったときに助け合えるまちであるという問 いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思 う」と回答した人の割合	31.7%	32.9%	27.7%